

「岡山 PPP 交流広場」開設趣意書

1. 趣旨

本市の所有する公共施設等、すなわち庁舎、学校園、市営住宅、コミュニティハウス、公民館といった公共建築物や、道路、公園、水道、下水道といった公共土木施設については、一時期に集中的に整備されたことから、今後、多くの施設が老朽化に伴う大規模な修繕や更新の時期を一斉に迎えることになり、その安全対策や財政負担の増大が喫緊の課題となっています。

また、我が国は「人口急減・超高齢化」に確実に向かっているとされており、それに伴う税収の大幅な減少も想定される中、人口構造や社会状況等の変化に伴う今後の施設需要の変化を見据え、まちづくりの面におけるコンパクトシティ等への取組と密接に連携し、公共施設等の在り方についてもその機能と配置の最適化を図りながら、将来にわたって市民の理解が得られる、需要と供給のバランスの取れた持続可能なものにしていく必要があります。

このような状況を踏まえ、本市の公共施設等を網羅する統一的なマネジメントへの取組方針を定め、全市で一体的なマネジメントを推進していくため、昨年12月に策定した「岡山市公共施設等マネジメントに関する基本的方針」では、マネジメントの具体的方策として、①総量の抑制と適正な資産経営、②施設機能の最適化、③公民連携(PPP)、④長寿命化と安全確保、⑤情報公開と市民協働の5つの視点を掲げ、中でも、公民連携については、これを重要な柱として、民間企業等とも意見交換、事業提案の場を設け、積極的に情報交換を行っていくこととしています。

「岡山 PPP 交流広場」(以下、「広場」という。)は、こうした趣旨を踏まえ、市有施設の民間活用や民間施設を活用した公共サービスの提供など、ストックマネジメントの視点から多様な公民連携を推進するための対話の場として開設し、今後の公民連携のあり方等について議論を深めるとともに、いつでも情報、意見、提案等を交換し合えるネットワークを構築していこうとするものです。

2. テーマ

- (1)岡山市が進める公共施設等マネジメントについて
- (2)岡山市の未利用地及び未活用施設の民間活用について
- (3)市有施設における出店等民間サービスの提供について
- (4)民間施設への公共施設・サービスの誘致について
- (5)その他、公民連携に関する幅広い情報・意見交換及び提案

3. 運営方針

- (1)広場は、趣旨に賛同する団体によって構成し、参加及び脱退は任意であり、また、会費等の負担は必要としない。(参加団体は別紙のとおり)
- (2)参加団体からの申し出により、随時、会合等を開催する。
- (3)参加団体のメーリングリストを整備し、各団体傘下の会員等に対し、常時、情報が伝達されるネットワーク網を構築する。
- (4)岡山市のホームページ上に広場の情報コーナーを設ける。
- (5)広場の運営に当たっては、岡山市が幹事を務める。

平成27年3月6日

岡山市財政局

局長 深澤 正志